

のりくら高原ミライズ

サステイナブルツーリズムを 通しての地域の存続

Profile

山口 謙



- 千葉県出身
 - 大学卒業後スキーメーカー勤務
 - アメリカで青少年育成と聖書を学ぶ
 - 乗鞍高原移住20年
 - 株式会社ノーススター代表取締役
 - のりくら観光協会・副協会長
 - Mt.乗鞍スノーリゾート代表取締役
 - 自称“乗鞍の中間管理職”
-



アウトドアスクール

&

コンドミニアム

ridenorthstar.com





Winter Season

スノーボードレッスン / スノーシューツアー / バックカントリー
ツアー



Green Season

マウンテンバイクツアー / 登山ガイド

NORTHSTAR loft

コンドミニアム

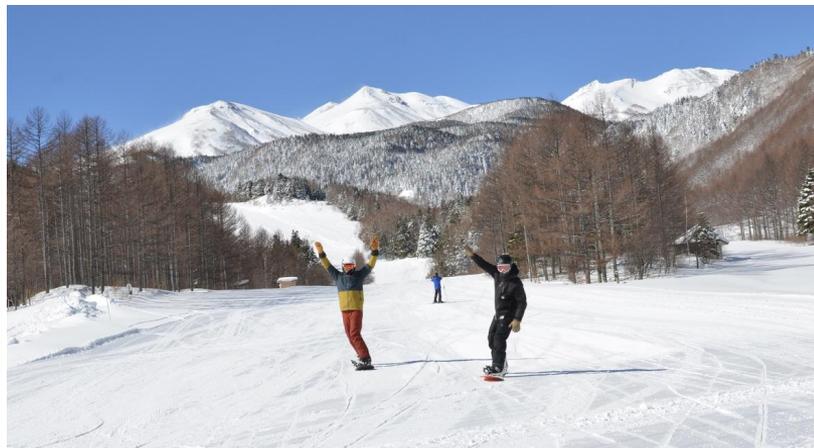




乗鞍高原の紹介



地域の課題



① 地球環境問題の影響または社会の変化等により豊かな自然環境が失われる危機

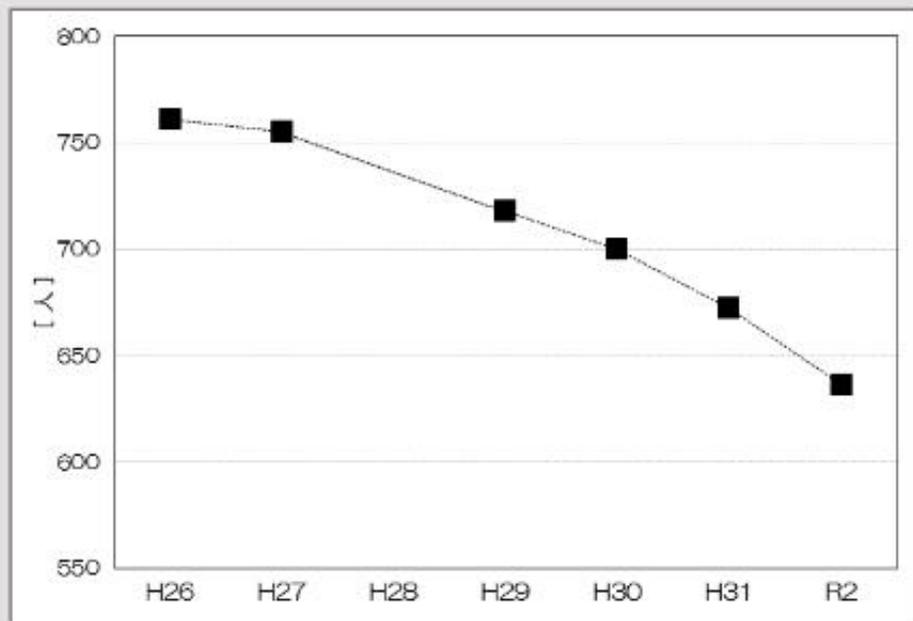


積雪量が極めて少ないスキー場

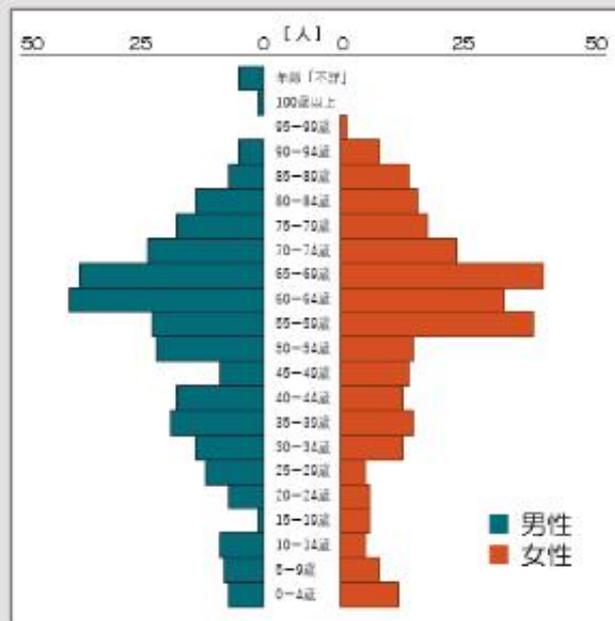


抜いても抜いても繁茂する外来植物

② 少子高齢化、人口減少等により、 安心・安全な暮らしが失われゆく危機



大野川区の人口推移



大野川区の人口ピラミッド

*出典：平成27年度国政調査

松本市安曇地区大野川区人口推移

年	R1	R2	R3	R4	R5
人口	672	654	630	594	597
世帯	339	337	321	306	312

③ 豊かな自然観光資源を活かしきれず、 山岳観光地として持続できなくなる危機



管理に手が回っていない一の瀬の草原景観



荒廃したトレイル



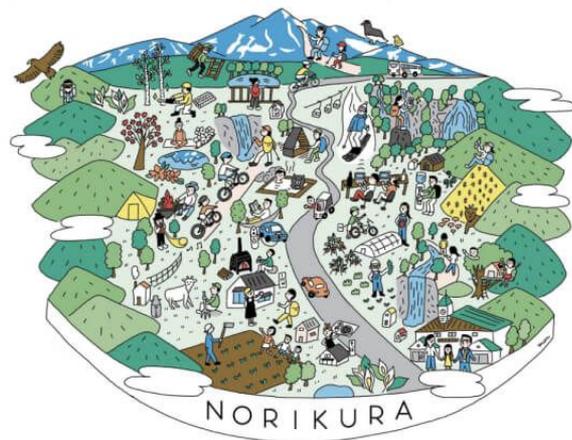
地域ビジョン のりくら高原ミライズの策定

2021年3月



のりくら高原ミライズ

のりくら高原ミライズ



共有する価値観

「自然を活かし、自然に生かされる、
持続可能な暮らしづくり」

目指すべきビジョン

「環境・暮らし・観光」の3要素を基盤とし、
それぞれが相互作用しながら持続可能な地域
社会を形成していく。



ゼロカーボンパークとしての認定



環境省

Ministry of the Environment

国立公園に、行ってみよう！

文字サイズの変更



▶ 環境省TOPページ（日本語 / English）

▶ 各種窓口案内 ▶ サイトマップ

▶ 本文へ ▶ NATIONAL PARKS OF JAPAN

HOME 国立公園でなにしよう？ ▼ 国立公園一覧 国立公園とは トピックス



検索



メニュー

HOME > トピックス > ゼロカーボンパークに行ってみよう！



ゼロカーボンパークに 行ってみよう！



のりくら高原ミライズに 基づいた取り組みの紹介

<https://zero-carbon-park.norikura.gr.jp/>



ZERO CARBON PARK

のりくら高原

NORIKURA KOGEN

中部山岳国立公園
CHUBUSANGAKU NATIONAL PARK

乗鞍高原は、2021年3月に環境省から日本第1号のゼロカーボンパークに登録されました。脱炭素化を目指し、サステナブルな観光地の先駆けとなるべく、有識者を招いたフォーラムの実施やE-Bikeツーリズムの推奨など、少しずつ形になりつつあります。できることから一歩ずつ取組みを進め、2050年に向けて排出する二酸化炭素ゼロの地域づくりを実現します。

脱炭素化に向けた私たちの取組み

OUR ACTION

<p>SAVING</p>  <p>ELECTRICITY</p> <p>私たちの取組度</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>	<p>SAVING WATER</p>  <p>私たちの取組度</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>	<p>NO PLASTIC</p>  <p>私たちの取組度</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>	<p>FOOD LOSS REDUCTION</p>  <p>私たちの取組度</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>
<p>節電 (省エネ機器への切替等)</p>	<p>節水</p>	<p>脱プラ</p>	<p>フードロス削減</p>
<p>WOOD STOVE</p>  <p>私たちの取組度</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>	<p>SOLAR POWER</p>  <p>私たちの取組度</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>	<p>LOCAL INGREDIENTS</p>  <p>私たちの取組度</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>	<p>EV FCV CAR</p>  <p>私たちの取組度</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>
<p>薪ストーブの導入</p>	<p>太陽光発電</p>	<p>地元食材の積極的な利用</p>	<p>EV・FCV車の導入</p>
<p>施設名 Facility Name</p> <p>乗鞍高原</p> <p>Alpine Village 乗鞍高原</p>			
<p>私たちが特に力を入れている取組み</p>			

USE A REUSABLE BOTTLE

マイボトル持って
乗鞍を歩こう。

自然はめぐる。
人の想いも行いめぐる。
だから、
ささやかたとしても、
今日もマイボトル持って
歩こう。
大好きな乗鞍を想って。



to
KEEP NORIKURA BEAUTIFUL

国内でゼロカーボンパーク第一号に認定された乗鞍高原では、地域をあげて、環境に配慮する様々な取り組みにトライしています。マイボトル持参の推奨も、その一つ。高原内には山の美味しい水を給水できる無料給水スポットも豊富です。美しい自然環境を未来へと引き継ぐため、マイボトルの持参にご協力ください。



① サステイナブルツーリズムを学ぶ 体験プログラム

- サステイナブルツーリズムに関するレクチャー
- 外来種駆除作業
- トレイル整備協力金とクラフト体験
- アウトドアアクティビティ









NORTHERN KOGEN
TRAILS

② 木の駅プロジェクト と MTBトレイル造成

- 木の駅プロジェクト＝修景伐採時の伐採木を薪として地域内で販売
- 伐採時に使用した作業道をマウンテンバイク用のトレイルとして再利用











「環境・暮らし・観光」の3要素を基盤とし、それぞれが相互作用しながら持続可能な地域社会を形成していく。



地域に滞在し、時間を過ごすことが、結果的に地域とその環境なサスティナブルに繋がる



地域ビジョン策定に至る 地域住民の合意形成

- 危機感の共有
- 移住者の学ぶ姿勢
- 在住者の受け入れる姿勢
- 徹底的に議論する(ケンカする)決意
- 間を取り持つ中立的な存在 > 私たちの場合は環境省

地域の存続こそが、結果的に 脱炭素に繋がるという理解の共有

